

製品名	利用対象	製品の機能	AI強化	製品の価値
Hawk ホーク 総合物品マスタ	情報システム部 資材部	部門ごとに二重管理されがちな物品マスタを院内で一元化。各製品にマスタを配信します。	企画中	部門システム間のマスタ不整合を解消
Kestrel ケストレル 医療商材物流管理	資材部	入荷・請求・払出・棚卸・発注までの物流業務を一元管理。バーコード・ロット・ユニーク管理を標準装備。	・物流コールセンタ ・物品詳細コールセンタ ・定数管理	入荷～払出の物流の一元化
Condor コンドル 薬剤物流管理	薬剤部・資材部	薬剤の仕入・在庫・請求・払出を薬剤部と各部署でつなぎます。定数管理・後追い発注にも対応。	・物流コールセンタ ・物品詳細コールセンタ ・定数管理 ・処方詳細禁忌チェック	薬剤の請求・払出・棚卸を効率化
EaGle イーグル 手術室管理	手術室	手術オーダーから計画・準備・術中記録・術後までを一元管理。消費をバーコードで記録します。	企画中	消費をバーコードで漏れなく記録
Falcon ファルコン カテテル手術室管理	カテ室	高額医療材料の使用履歴と予定を一元化。HIS・RIS連携しカテ室特有の記録にも対応します。	企画中	高額材料の使用履歴とカテ台帳を一元管理
BirdEye バード・アイ 経営可視化	経営層	複数システムのデータを横断集計し経営層が前日までの数字を俯瞰できる補助ツールです。	企画中	高い視点から数字を俯瞰
CanCareNavi キャンケアナビ がん患者の先回りケア	患者様	悪化前の先回りケアに向け、診察用「医師向けメモ」と接し方を伝える「家族向けレポート」を自動作成	・24/365のチャット応答 ・データ分析	自己負担感SPBの兆しを捉え、QOL低下前に、相談・通知・支援につなげる

AI 連 携 シ ス テ ム

物流コールセンタ

物品の質問・救急カート受付をAIが一次対応

効果 問い合わせ対応を半減
自己解決 6割超

定数管理システム

発注時期を、データで最適化

効果 見直し数日→数分
過剰在庫 10~30%減

**物品詳細
コールセンタ**

**処方詳細禁忌
チェック**



まずは、30分の
オンライン概要説明会から。

✉ medical-all@dynaxt.co.jp

🌐 <http://dynaxt.co.jp>

☎ TEL: 087-887-8881



株式会社 DynaxT
ダイナックス・ティ

〒761-0301 香川県高松市林町 2217-6

TEL: 087-887-8881 / FAX: 087-887-8889

MAIL: medical-all@dynaxt.co.jp

WEB: <http://dynaxt.co.jp>



AI機能で自動化と省力化が進みました。

院内物流システムには以下のAI機能を搭載

AI活用システム1

物流コールセンタ NEW

問合わせ対応の労力を最小化し、
今まで消えていたデータを蓄積・分析して
見える化・効率化を図る

AIが代わりに先に答える
担当者なしでスタッフが自力解決。

全ての情報を蓄積
電話では消える質問をデータで蓄積。
自動的にナレッジベースを構築。

データ分析で見える化・効率化
蓄積したデータを分析し、
現場が困っていること見える化・効率化。

AI活用システム2

定数管理システム NEW

物品管理の数字を、
実際の消費データからまとめて計算し
発注基準の見直しや、最適な定数管理を実現。

特殊な物品を自動仕分け
急な変動・低頻度品を
別管理にして見落としを防ぐ。

発注の基準をまとめて計算
発注点・安全在庫・発注単位を
自動で算出。倉庫サイズまで考慮。

定期的に見直せる
数千点の定点を数分で計算。
定期的な全数見直しを実現。

AI活用システム3

物品詳細コールセンタ NEW

物品・薬剤の仕様・使い方の
詳細な問い合わせに
院内の情報を元に自動で答えられます。

全ての情報を蓄積
電話では消える質問をデータで蓄積。
自動的にナレッジベースを構築。

データ分析
蓄積したデータを分析し、
現場が困っていること見える化・効率化。

AI活用システム4

処方詳細禁忌チェック NEW

電子カルテの処方チェックから漏れた、
院内のドキュメントを元にした
チェックができます。

病院によっては薬剤師が行っている
詳細な**処方チェック**を自動化できます。

独自の薬剤データ・ルールを活用
AIなので、データ・ルールを柔軟に設定可能
病院独自の運用をできます。

開発中 **CanCareNavi**

横浜国立大学 江口侑子先生・ZEN大学 教授 木野 泰伸先生と共同研究・開発中
CanCareNaviは、日常会話から生成AIが、がん患者の心と体の変化を捉え、
医師と家族の先回りケアを支援します。

搬送用ロボット

各種の院内カートを自動で判別し、指定の部署まで
自動で運ぶ、搬送ロボット開発予定



医療情報学会

第46回医療情報学連合大会（札幌） 11/14（土）
8:00~9:00のモーニングセミナーにて発表予定



DynaMedical

データとモノの流れをつなぎ、
病院全体の業務と経営を最適化する。

→ モノの流れ - - - - - ● 情報の流れ

Bird Eye

経営可視化

- ・ 病院全体のデータを横断分析
- ・ 手術件数や手術収支を可視化
- ・ データに基づいた決断を高速化

このような課題はありませんか？

- ▶ 部門でシステムが違う 物品に複数のコード
- ▶ 数字が届くのが遅い 月次まで状況不明
- ▶ 高額材料の記入漏れ 医事請求が追いつかない
- ▶ 間接業務の増加 物流状況・物品・薬剤についての質問で業務が圧迫

Eagle 手術室管理

- ・ 手術計画から実績まで一元管理
- ・ 手術記録・消費実績を電子化
- ・ HIS・物流システムと連携

Falcon

カテーテル手術室管理

- ・ カテーテル検査・実績を一元管理
- ・ 消費実績を物流システムへ自動反映
- ・ HIS・RIS との連携に対応

Hawk

統合物品マスタ管理

- ・ 院内の物品・薬剤マスタを一元管理
- ・ システム間のコード・名称を統一
- ・ 各部門へ最新マスタを自動配信

Condor

薬剤物流管理

AI機能搭載

- ・ 薬剤の入在庫・在庫を一元管理
- ・ 払出・補充・発注業務を効率化
- ・ 薬剤部と各部署をシームレスに連携

AI 物流コールセンター

- ・ 在庫・受払・使用量をその場で照会
- ・ 解決しない質問だけ担当者へ引継ぎ
- ・ 対応履歴を分析して問題を見える化

AI 物品詳細コールセンター

- ・ 物品・薬剤の詳細について AI が調べてその場で回答
- ・ 解決しない質問だけ担当者へ引継ぎ
- ・ 対応履歴を分析して問題を見える化

AI 定数管理システム

- ・ 物流動向を監視し AI が消費を分析
- ・ 注点・安全在庫など最適定数を推論・提案
- ・ 月 1 回など定数で見直し不良在庫を縮小

AI 処方詳細禁忌チェック

- ・ 電子カルテではカバーしきれない細かな運用にも対応
- ・ 怪しい処方を重点的にチェックできます

“D棟M庫にあります。
過去の使用実績から、
3日以内の発注を推奨します”

“この物品どこにある？”